

整理番号： 1

科目名： 暮らしと経済

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	1年	課程名	共通	専攻名	共通		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
祝田 学	無	外部講師（岡崎女子短期大学）

授業の目的及び内容	私たちの暮らしは、経済と切っても切れない関係にある。生産や消費は、貨幣経済を基本に様々な要素で動いており、それらの要素がどのような仕組みで、暮らしと関わっているのか取り上げ、社会生活の基礎的な内容を学習する。
授業の方法	①講義はプレゼンを使用し、時には討議を行う。 ②配布したテキストは事前に熟読しておく。 ③講義まとめシートを各回配布し、講義終了後に提出する。
到達目標	貨幣経済を基本に、社会生活の基礎的な内容を学習する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	現代日本の企業・経済・社会―第2版	釜賀雅史・岡本純編著	学文社, 978-4762028991			
成績評価の方法・基準	定期試験(90%)、講義中のまとめシート・受講姿勢(10%)等を加味し、総合的に評価する。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	経済活動とは1、経済の仕組み、マクロ経済とミクロ経済、GDP、DGPについて	2
2	経済成長とは2、需要と供給、為替相場について、景気（インフレーションとデフレーション）	2
3	貨幣とは、銀行の仕組み（金利について）、投資行動について	2
4	経済理論1、アダム・スミス（見えざる手）、マルクス（失業者を生み出す資本主義）	2
5	経済理論2、ケインズ（公共事業で景気回復）、フリードマン（貨幣の量についての問題）	2
6	企業活動と経済、企業活動の仕組み、企業活動の実際	2
7	国際経済の基本、国際機関や協定について（WTO、IMF、OECD、ODA、TPPなど）、多国籍企業の活動	2
8	試験	1
9		
合計		15

整理番号： 2

科目名： 暮らしと法律 I

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	1年	課程名	共通	専攻名	共通		
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
竹内 典夫	無	外部講師（岡崎女子短期大学）

授業の目的及び内容	法治国家の中で、私たちが日常生活を営む上で、どのような法律と関わっているのか。また、農業を営む上でどのような法律と強い関わりがあるのかを、特に重要な内容を中心に基礎的に学習する。
授業の方法	黒板に記述し、それをわかりやすく説明していく。 ノートにしっかり取ること。
到達目標	日常生活や農業を営む上で、どのように法律に関わるかを、重要な項目を中心に基礎的に学習する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献	法学・憲法講義録	竹内典夫	法律文化社			
その他教材						
成績評価の方法・基準	定期試験(70%)、受講姿勢(30%)等を加味し、総合的に評価する。					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	法の概念と法体系 ① 法の定義 ② 法の目的 ③ 法の分類	2
2	人と法の関係 成人と未成年との法的区分	2
3	婚姻について ① 家族と法 ② 事実婚と法律婚 ③ 婚姻の効果	2
4	離婚について ① 離婚制度 ② 離婚後の夫婦の法律関係	2
5	親子関係について ① 実子と養子 ② 親権の内容	2
6	我が国の裁判制度 ① 三審制 ② 裁判官 ③ 最高裁判所	2
7	裁判委員制度について ① 刑事裁判の流れ ② 裁判に係わる人	2
8	試験	1
9		
合計		15

整理番号： 3

科目名： 自然科学

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	講義
対象学年	1年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
石川 克己	無	外部講師（学識経験者）

授業の目的及び内容	農業は、生物を基礎に物理・化学や地質、気象など自然を科学した産業である。本講座は動物・植物・微生物を対象とする生物学を主体に、物質の特徴や反応による物理学・化学などの基礎を含めた自然現象の法則を総合的に学ぶ。
授業の方法	学習ノート
到達目標	①生物学を主体とした農業に関わる動物・植物の基本的な自然法則を理解する。 ②生物の多様性と生態系・保全、人間活動に関わる影響について理解する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	自作資料	県立農業大学校	県立農業大学校			
参考文献	「チャート式新生物基礎」 「理解しやすい生物基礎」 地球46億年の歴史	鈴木孝仁、本川達雄、鷺谷いずみ 水野丈夫、浅島誠	数研出版 文英堂 「AsapSCIENCE」			
その他教材						
成績評価の方法・基準	出欠席：学習ノート提出＝出席・学習ノート未提出＝欠席 点数：学習ノート2点満点×7回＝ 14点 定期試験86点満点×1回＝ 86点 合計 100点					
試験の有無	定期試験	有	追試験	有	再試験	有

授業計画		
回数	内容	時間
1	生物の共通性	2
2	代謝	2
3	遺伝	2
4	植物と環境	2
5	植生と環境	2
6	生態系	2
7	人間活動の影響	2
8	試験	1
合計		15

整理番号： 4

科目名： 生物学実験

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	実験
対象学年	1年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							適

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
中島 晴子	有	学識経験者
川上 清久	有	ベルディ株式会社
芦田 晃	有	学識経験者
渡邊 菜々香	有	学識経験者
岡村 隆	有	元農業大学校職員

授業の目的及び内容	生物学の基本的な実験方法を習得する。
授業の方法	1 畜産物の生化学検査法、2 植物組織培養実験、3 細胞工学実験、4 組織観察法、5 病害虫の顕微鏡観察
到達目標	生物学の基本的な実験方法を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材	講師作成プリント					
成績評価の方法・基準	出席時間、スケッチ等提出物、実験の取組態度					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	畜産物の流通における検査について	4
2	染色体の摘出、観察、スケッチ（分裂前期、中期、後期、終期）	4
3	害虫の基礎知識、害虫標本の作成及びスケッチ（アザミウマ類）	4
4	病害虫の基礎知識、病菌等のスケッチ（ベト病、タンソ病、葉カビ病、うどんこ病、ススカビ病等）	4
5	茎頂培養のための培地づくり	4
6	生長点の摘出と培地への植え込み(カーネーション)	4
7	プロトプラストの分離と観察、スケッチ、細胞融合について	4
8	まとめ	2
合計		30

整理番号： 5

科目名： 実践英語（1年）

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	1年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
丹羽 紘一	無	外部講師(元岡崎女子短期大学)

授業の目的及び内容	グローバル化がますます進展する中、国際交流に欠かせない語学力を身に付ける。
授業の方法	基礎的な英会話を演習
到達目標	挨拶など簡単な日常的なフレーズの会話を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	接客ひとこと英会話	藤田英時	主婦の友インフォス			
参考文献						
その他教材	会話CD、CDプレーヤー					
成績評価の方法・基準	出席単位数、授業態度、会話力、筆記力					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	第1章 すぐに使える基本フレーズ	4
2	〃	4
3	第2章 どんな業種でも使える共通フレーズ	4
4	〃	4
5	〃	4
6	第3章 飲食店で使えるフレーズ	4
7	〃	4
8	〃	2
9		
合計		30

整理番号： 6

科目名： 実践英語（2年）

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	2年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
丹羽 紘一	無	外部講師(元岡崎女子短期大学)

授業の目的及び内容	グローバル化がますます進展する中、国際交流に欠かせない語学力を身に付ける。
授業の方法	基礎的な英会話を演習し習得する。
到達目標	挨拶など簡単な日常的なフレーズの会話を習得する。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書	接客ひとこと英会話	藤田英時	主婦の友インフォス			
参考文献						
その他教材	会話CD、CDプレーヤー					
成績評価の方法・基準	出席単位数、授業態度、筆記力、会話力					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	第4章 販売店で使えるフレーズ	4
2	〃	4
3	第5章 宿泊施設で使えるフレーズ	4
4	〃	4
5	第6章 道案内・乗り物・雑談で使えるフレーズ	4
6	〃	4
7	第7章 トラブル対策で使えるフレーズ	4
8	〃	2
9		
合計		30

整理番号： 7

科目名： 体育（1年）

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	1年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
安藤 卓哉	無	学識経験者

授業の目的及び内容	体育実技を通して体力の向上を図りつつ、ルールを守る社会性を身につける。
授業の方法	実技種目：バレーボール・バスケットボールなど
到達目標	体力の向上を図りつつ、ルールを守る社会性を身につける。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材						
成績評価の方法・基準	出席単位数					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	バレーボールの特性とルール説明（ウォームアップ、クールダウンの重要性） チーム編成	2
2	バレーボール・ゲーム	2
3	バレーボール・ゲーム	2
4	バレーボール・ゲーム	2
5	バレーボール・ゲーム	2
6	バスケットボールの特性とルール説明、チーム編成 バスケットボール・ゲーム	2
7	バスケットボール・ゲーム	2
8	バスケットボール・ゲーム	2
9	バスケットボール・ゲーム	2
10	バスケットボール・ゲーム	2
11	バスケットボール・ゲーム	2
12	体育大会	2
13	体育大会	2
14	体育大会	2
15	体育大会	2
合計		30

整理番号： 8

科目名： 体育（2年）

科目群	教養科目	必選区分	必須	単位	1	指導形態	演習
対象学年	2年	課程名	共通		専攻名	共通	
実務経験のある教員による授業科目又は主として実践的教育から構成される授業科目の適否							否

担当講師		
講師名	実務経験の有無	実務経験内容
安藤 卓哉	無	学識経験者

授業の目的及び内容	体育実技を通して体力の向上を図りつつ、ルールを守る社会性を身につける。
授業の方法	実技種目：バレーボール・バスケットボールなど
到達目標	体力の向上を図りつつ、ルールを守る社会性を身につける。

区分	書名	著者・編集者名	出版社名			
教科書						
参考文献						
その他教材						
成績評価の方法・基準	出席単位数					
試験の有無	定期試験	無	追試験	無	再試験	無

授業計画		
回数	内容	時間
1	バレーボールの特性とルール説明（ウォームアップ、クールダウンの重要性） チーム編成	2
2	バレーボール・ゲーム	2
3	バレーボール・ゲーム	2
4	バレーボール・ゲーム	2
5	バレーボール・ゲーム	2
6	バスケットボールの特性とルール説明、チーム編成 バスケットボール・ゲーム	2
7	バスケットボール・ゲーム	2
8	バスケットボール・ゲーム	2
9	バスケットボール・ゲーム	2
10	バスケットボール・ゲーム	2
11	バスケットボール・ゲーム	2
12	体育大会	2
13	体育大会	2
14	体育大会	2
15	体育大会	2
合計		30